

子ども・子育て支援対策調査 特別委員会報告資料

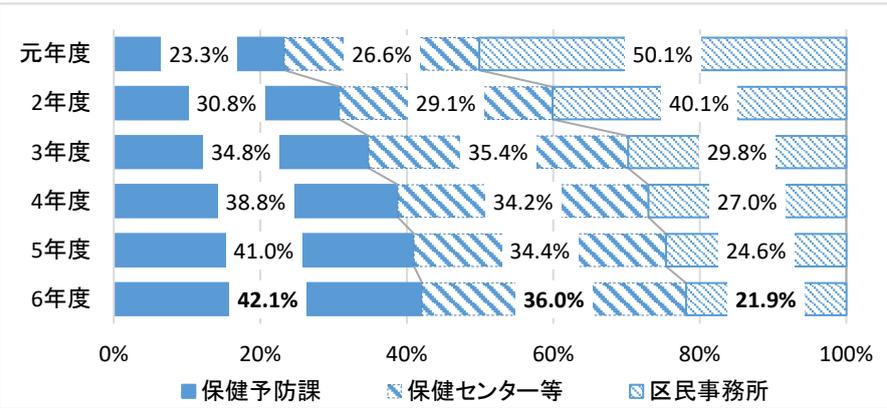
令和7年7月8日

報告事項件名

頁

- 1 令和6年度「あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト（ASMAP）」
の実績及び令和7年度の主な取り組み方針について・・・・・・・・・・ 2

(衛 生 部)

| <p>件名</p> | <p>令和6年度「あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト (ASMAP)」の実績及び令和7年度の主な取り組み方針について</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|---------|-------|-----|----|-------|-------|-------|-------|---------------|-------|-------|-------|-----|-------|---------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|
| <p>所管部課名</p> | <p>衛生部保健予防課</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>内容</p> | <p>「あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト」（以下、「ASMAP」）の令和6年度実績及び令和7年度の主な取り組み方針について下記のとおり報告する（詳細は P 10～14 参照）。</p> <p>1 ASMAPの事業実績について</p> <p>(1) 妊娠届出場所の年次推移 (図1)</p> <table border="1" data-bbox="483 712 1423 880"> <thead> <tr> <th>届出場所</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区民事務所</td> <td>24.6%</td> <td>21.9%</td> <td>△2.7P</td> </tr> <tr> <td>保健予防課・保健センター等</td> <td>75.4%</td> <td>78.1%</td> <td>+2.7P</td> </tr> </tbody> </table> <p>保健予防課・保健センター等での届出割合が、2.7ポイント増加した。妊娠届出時に保健師等とスマイルママ面接を実施することができ、こども商品券や「あだち出産・子育て応援事業」の申請書もその場で受け取ることができるため、保健予防課や保健センター等に来ていただけるよう案内している。</p> <p>図1 妊娠届出場所の年次推移</p>  <table border="1" data-bbox="483 1182 1370 1590"> <thead> <tr> <th>元年度</th> <th>保健予防課</th> <th>保健センター等</th> <th>区民事務所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>元年度</td> <td>23.3%</td> <td>26.6%</td> <td>50.1%</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>30.8%</td> <td>29.1%</td> <td>40.1%</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>34.8%</td> <td>35.4%</td> <td>29.8%</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>38.8%</td> <td>34.2%</td> <td>27.0%</td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>41.0%</td> <td>34.4%</td> <td>24.6%</td> </tr> <tr> <td>6年度</td> <td>42.1%</td> <td>36.0%</td> <td>21.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) スマイルママ面接</p> <p>妊娠届出をした妊婦に対し、保健師等による妊婦全数面接により、妊婦の心身状態・家庭状況等を把握し、適切なケアを行う。面接をした方には、育児パッケージとして「こども商品券」10,000円分を支給している。</p> <p>面接者数（こども商品券支給件数） 4,609人 (96.1%)</p> <p>※ 令和6年度届出者（転入含む）4,798人に対する令和7年4月30日までの対応分</p> <p>※ 未面接者189人 (3.9%) については、区民事務所に届け出た方などで、いずれも後日予約して面接を実施</p> | 届出場所 | 5年度 | 6年度 | 増減 | 区民事務所 | 24.6% | 21.9% | △2.7P | 保健予防課・保健センター等 | 75.4% | 78.1% | +2.7P | 元年度 | 保健予防課 | 保健センター等 | 区民事務所 | 元年度 | 23.3% | 26.6% | 50.1% | 2年度 | 30.8% | 29.1% | 40.1% | 3年度 | 34.8% | 35.4% | 29.8% | 4年度 | 38.8% | 34.2% | 27.0% | 5年度 | 41.0% | 34.4% | 24.6% | 6年度 | 42.1% | 36.0% | 21.9% |
| 届出場所 | 5年度 | 6年度 | 増減 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 区民事務所 | 24.6% | 21.9% | △2.7P | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保健予防課・保健センター等 | 75.4% | 78.1% | +2.7P | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 元年度 | 保健予防課 | 保健センター等 | 区民事務所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 元年度 | 23.3% | 26.6% | 50.1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2年度 | 30.8% | 29.1% | 40.1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3年度 | 34.8% | 35.4% | 29.8% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4年度 | 38.8% | 34.2% | 27.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5年度 | 41.0% | 34.4% | 24.6% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6年度 | 42.1% | 36.0% | 21.9% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

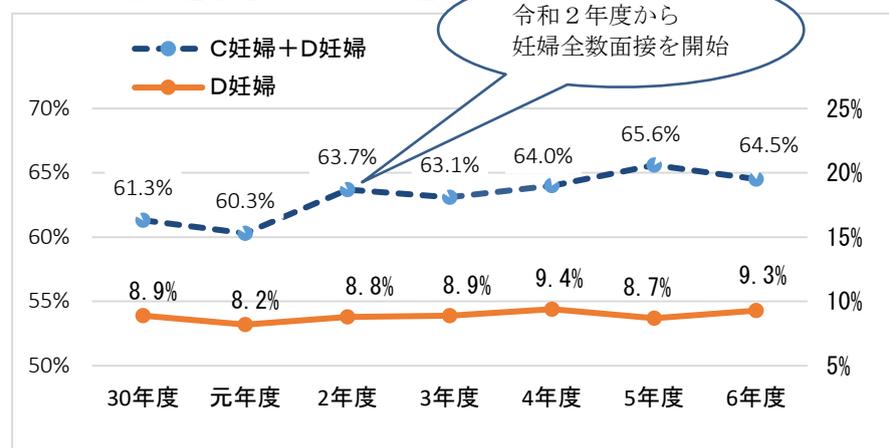
(3) 妊娠届出による支援区分の判定基準と割合

何らかの支援を必要とする人（C妊婦及びD妊婦）の割合は、令和6年度は、1.1ポイントの減となった。特に支援を必要とする人（D妊婦）の割合は0.6ポイント微増した。支援区分の判定基準と支援内容は次のとおり。

| 支援区分 | 判定基準 | 5年度 | 6年度 | 増減 | 支援内容 |
|------|--|-------|--------------|-------|---|
| A妊婦 | リスク項目該当なし 通常の母子保健対象妊婦 | 34.4% | 35.5% | +1.1P | — |
| B妊婦 | C妊婦と判定されたが、状況が改善された妊婦（妊娠届出時等では判定なし） | | | | |
| C妊婦 | 特定妊婦ではないが、身体的・社会的・心理的等のリスクがあり、継続支援が必要な妊婦 | 56.9% | 55.2% | △1.7P | ① 支援計画作成 ② 妊娠期から産後4か月までに3回以上の電話や家庭訪問等を実施 |
| D妊婦 | 出産後の養育について出産前から特に支援を行うことが必要な特定妊婦 | 8.7% | 9.3% | +0.6P | ① 支援計画作成 ② 4回以上の家庭訪問等を実施 |

(4) 支援が必要な妊婦の年次推移（図2）

図2 支援が必要な妊婦の年次推移

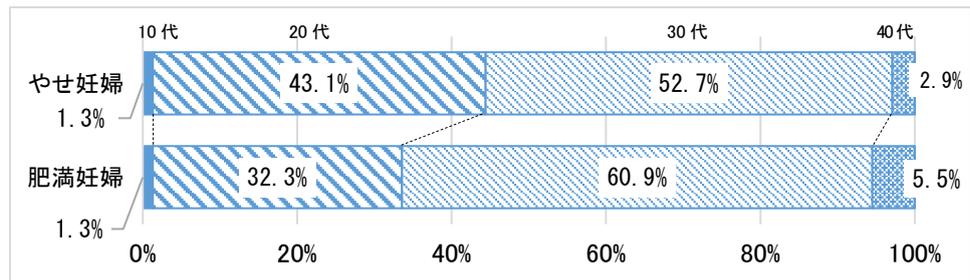


(5) 妊娠届出時のアンケートや面接で把握する24項目のうち該当が多いリスク項目

ア やせ（12.6%）・肥満（12.4%）（図3）

若い年代の妊婦は、やせている傾向がある。

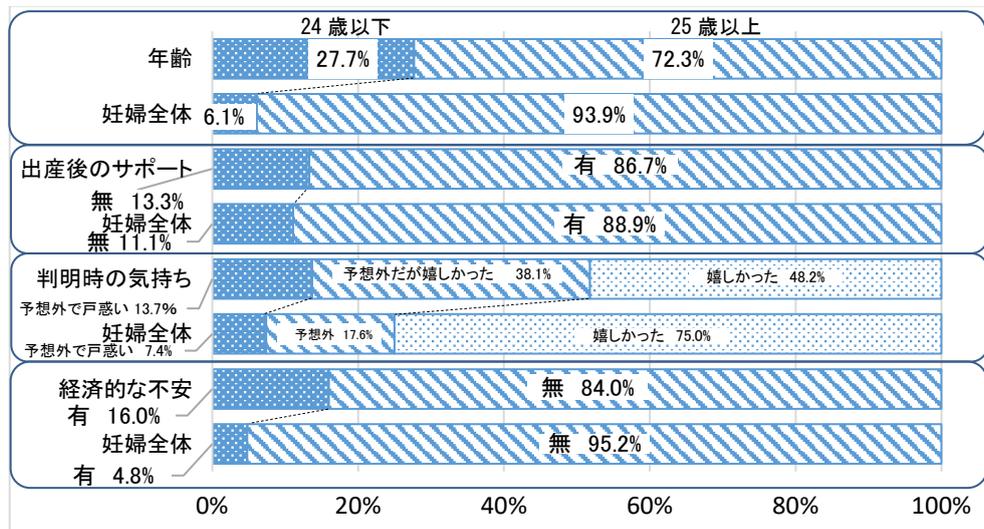
図3 やせ(558人)・肥満(550人)と回答した者の年代別内訳(割合)



イ 届出時シングル【妊娠届出書提出の際、入籍していない妊婦(入籍予定の方も含む)】(12.3%) (図4)

妊娠がわかった時に「予想外で戸惑いがあった」割合は、妊婦全体の割合よりも6.3ポイント、また、経済状況に不安がある妊婦の割合も11.2ポイント高かった。

図4 主なリスク項目における届出時シングル回答(548人)と妊婦全体の比較(割合)



2 令和6年度の主な経済的支援の実績について

令和5年度から国の「出産・子育て応援交付金」を活用し、寄り添い支援を行う補助事業が創設された。令和7年度からは「出産・子育て応援給付金」として、子ども・子育て支援法に法制度化し、現金給付に変更されている。

区においては、この給付金と東京都の「東京都出産・子育て応援事業」を活用し、妊娠期から出産・子育て期まで一貫して身近で相談に応じる伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施し、妊娠期からの切れ目ない支援を行っている。

(1) あだち出産・子育て応援事業(令和5年4月1日事業開始、令和7年4月1日から法制度化)

令和6年度までの出産・子育て応援ギフトのうち、子育て応援ギフトは、東京都の「東京都出産・子育て応援事業」を活用

し、5万円分の上乗せを行い、10万円分相当のギフトカードを支給している。ギフトカードは、東京都の広域連携（育児用品や子育て支援サービス等を専用WEBサイトから選択する）の仕組みを活用した。

ア 出産応援ギフト【妊娠時：スマイルママ面接で案内】

(ア) 対象者

令和6年度に妊娠届出された妊婦

(イ) 支給内容

妊婦一人あたり5万円のギフトクーポン

(ウ) 出産応援ギフト支給実績

| 対象者 | 支給額 | 支給件数 | 支給割合 |
|------------|-------|--------|-------|
| 令和6年度妊娠届出者 | 5万円相当 | 4,284件 | 89.2% |

※ 支給割合が低いのは、令和7年度から現金支給に変更する事を令和7年3月から案内したことに伴い、申請控えがあったためと考える。

イ 子育て応援ギフト【出産時：こんにちは赤ちゃん訪問で案内】

(ア) 対象者

令和6年度に出産された子の養育者

(イ) 支給内容

出産した子ども一人あたり10万円のギフトクーポン

※ 5万円分は東京都の上乗せ補助

(ウ) 子育て応援ギフト支給実績

| 対象者 | 支給額 | 支給件数 | 支給割合 |
|-------------|--------|--------|--------|
| 令和6年度に出産した方 | 10万円相当 | 4,268件 | 104.0% |

※ 支給割合が100%を超えているのは、令和5年度分の出生に対し、遡及対応したものがあつたため。

ウ 今後の実施方法

令和7年4月1日から、子ども・子育て支援法により法制度化されたことに伴い、現金給付へ変更となる。

(2) こんにちは赤ちゃん訪問

生後3か月までの乳児がいる家庭を訪問指導員（助産師、保健師）が訪問し、新生児の発育・栄養・生活環境・疾病予防等、育児に必要な事項についての指導・助言をしている。

(令和7年6月25日現在)

| 年 度 | 届出件数 | 訪問件数 | 訪問率 |
|-------|--------|--------|-------|
| 令和5年度 | 3,941件 | 3,936件 | 99.8% |
| 令和6年度 | 4,113件 | 4,112件 | 99.9% |

基本計画における成果指標、「3～4か月児健康診査時のアンケートで「赤ちゃん訪問を受けて安心した」の設問に「あてはまる」「ややあてはまる」と答えた親の割合」は、98.9%であった。

(3) ファーストバースデーサポート

成長の節目の年齢となる1歳時にアンケートを郵送して育児状況を把握し、適切なケアにつなげる。アンケートを返送した方には、育児パッケージとして「こども商品券」を支給する。

【アンケートの回答状況】 (令和7年6月25日現在)

※ 発送は1歳になるお子さんを毎月抽出

| 項 目 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|--------|--------|--------|
| 1 発送数 | 4,160人 | 4,017人 |
| 2 回答数 | 3,833人 | 3,976人 |
| 3 有効回答 | 3,833人 | 3,975人 |
| 4 未回答 | 327人 | 41人 |
| 5 回答率 | 92.1% | 99.0% |

アンケートで「育児について相談できる相手はいますか」の設問に「いる」と答えた割合は、97.6%であった。

【こども商品券支給実績】

| 項 目 | 令和5年度 | 令和6年度 |
|--------|-------------|--------|
| 支給件数合計 | 3,833人 | 3,975人 |
| 内 訳 | 第1子(6万円分) | 1,991人 |
| | 第2子(7万円分) | 1,296人 |
| | 第3子以降(8万円分) | 546人 |

(4) 多胎児家庭移動支援

多胎児が0歳・1歳・2歳時に、保健師等が保護者と面接を実施し、育児状況を把握する。面接終了者については、母子保健事業利用時の移動の支援として、タクシー利用時に使用できる「こども商品券」24,000円分(一世帯あたり)を支給する。

| 項目 | | 令和5年度 | 令和6年度 |
|--------|----|-------|-------|
| 対象者件数 | | 147件 | 127件 |
| 面接者数合計 | | 130件 | 121件 |
| 内訳 | 0歳 | 51件 | 55件 |
| | 1歳 | 35件 | 32件 |
| | 2歳 | 44件 | 34件 |
| 実施率 | | 88.4% | 95.2% |

(5) 宿泊型・日帰り型産後ケア

育児に不安のある方などを対象に、宿泊型で心身のケアや育児サポートを実施している。妊娠8か月以降から申請を受け付けており、産後4か月未満、6泊7日までを上限に1日5,000円の自己負担で利用できる。

※ 令和7年度は、区内施設2か所（待木医院・東京女子医大附属足立医療センター）を追加する。

ア 施設一覧

| 施設名称 | | 住所 | 宿泊 | 日帰り |
|------|----------------------|----------------|----|-----|
| 1 | 待木医院（新規） | 足立区西竹の塚2-13-17 | ○ | × |
| 2 | 東京女子医大附属足立医療センター（新規） | 足立区江北4-33-1 | ○ | × |
| 3 | 長門クリニック（日帰り型を開始） | 足立区中川2-5-8 | ○ | ○ |
| 4 | 横川レディースクリニック | 足立区保木間1-22-15 | ○ | × |
| 5 | 綾瀬産後ケア | 葛飾区小菅4-8-10 | ○ | ○ |
| 6 | 東京かつしか赤十字母子医療センター | 葛飾区新宿3-7-1 | ○ | × |
| 7 | スワンレディースクリニック | 北区王子4-27-7 | ○ | × |
| 8 | 東京リバーサイド病院 | 荒川区南千住8-4-4 | ○ | × |
| 9 | 東都文京病院 | 文京区湯島3-5-7 | ○ | × |

イ 利用状況

| 項目 | | 令和5年度 | 令和6年度 |
|----|----------|--------|--------|
| 内 | 申請者数 | 623人 | 1,099人 |
| | 利用者数 | 313人 | 477人 |
| 訳 | 利用日数（延べ） | 1,582日 | 2,244日 |

ウ 利用者アンケート（回答数 177件）

産後ケア施設の利用は全体的に満足のいく内容だったか。

| | |
|-------------|-------|
| ① とてもよかった | 59.3% |
| ② 概ねよかった | 30.5% |
| ③ あまりよくなかった | 6.2% |
| ④ よくなかった | 1.1% |
| ⑤ 無回答 | 2.9% |

※ 低評価の意見は、「実施施設における対応への不満によるもの」「産後ケア中は良くても、家に帰ると今までと同様の生活が始まり、一時的な改善でしかないというもの」だった。実施施設における対応への不満によるものは該当施設に情報提供し、改善を要望した。

※ アンケートの内容の詳細は、P 13～14 参照

エ その他意見

【感謝】

(ア) 産後は、孤独になりがちで、家族も100%理解があるわけではなく、プロに頼れると心がとても楽になった。ゆっくり休めたことで身体の回復も一人目に比べ早かった。

(イ) 休息を目的として利用しましたが、子どもの特徴などを教えていただき、有意義な7日間となりました。もちろん体調も回復しました。今回利用したのは、区の補助があったことが大きな理由です。

【要望】

(ウ) 施設予約が取りづらいので、実施施設をもっと増やして、もっと選択肢を増やして欲しい。

区側の対応：

令和7年度は、宿泊型の2施設（待木医院・東京女子医大附属足立医療センター）を追加し、日帰り型の1施設（長門クリニック）を追加した。

(エ) 訪問型産後ケアがあれば利用してみたかった。

区側の対応：

訪問型産後ケアは、令和7年4月1日から東京都助産師会（葛飾・足立地区分会）に所属する助産師より開始した。

3 今後の方針

(1) 産後ケアについては、国が産後ケアの利用基準を緩和し、利用対象者を「産後ケアを必要とする者」に見直したことにより、利用希望者が急増している。今後も増加する需要に対応していくため、利用しやすい環境を整備していく。

(2) 東京都の「東京都出産・子育て応援事業」や国の「出産・子育て応援給付金」を活用し、伴走型相談支援と経済的支援により、ASMAP事業を着実に実施していく。

参 考

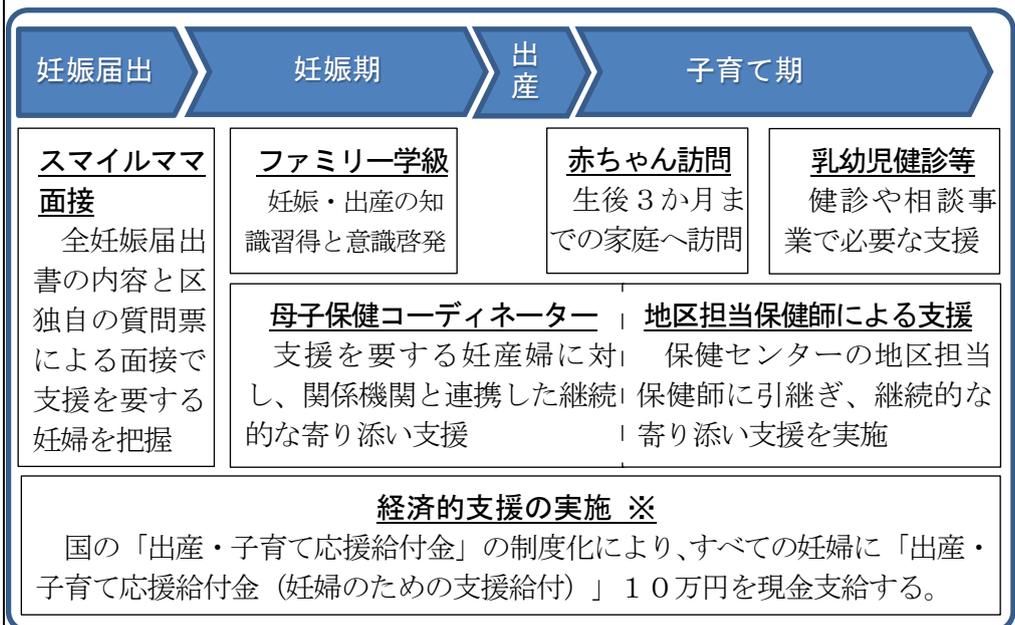
ASMAPの概要は以下のとおり（P10 参照）

1 事業開始の経緯

- (1) 平成26年「子どもの貧困対策に関する法律」が施行した。
- (2) 平成27年「足立区子どもの貧困対策実施計画」を策定した。
- (3) 平成27年度から主要事業の1つである「妊産婦支援の充実」のため、妊娠届出書に経済的な不安の有無や健康保険の加入状況、援助者の有無など、東京医科歯科大学（現・東京科学大学）と共同で開発した区独自の質問票を導入し、支援を要する世帯を把握した。
- (4) 平成28年度から特に支援を要する世帯に対し、妊娠期から切れ目のない支援を行うため母子保健コーディネーター（保健師）を配置し、現在は保健予防課に7名在籍している。

2 事業内容

養育困難や生活困窮を未然に防ぐため、すべての妊産婦に対し、相談や経済的支援を通じ、以下のように妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を実施している。



※ 東京都は、独自事業として「赤ちゃんファーストギフト」（10万円分のカタログギフト）を令和7年度から開始

あだち スマイル ママ&エンジェル プロジェクト

A S M A P

母子保健コーディネーターが妊娠期から切れ目ない支援を実現し、母子ともに健やかに笑顔で暮らせるあだちを目指す

気づく

妊娠届出書の内容等から支援を要する妊婦を把握

気づきのしくみづくり

- 母子保健コーディネーターや地区担当保健師が妊娠届出時の内容や区独自の質問票を確認。さらにスマイルママ面接事業で全妊婦と面談し、支援区分をABCDの4段階で判定。妊娠中の身体管理や産後の育児困難、生活困窮が予想される妊婦を把握する。特に支援を要する特定妊婦(D妊婦)は母子保健コーディネーターがサポートを行う。
- 医療機関が身体管理や育児困難、生活困窮が予想される妊婦を診察した際に、各保健センター等に情報提供してもらった仕組みを構築。

妊娠中

支える

面接・訪問を実施し、個別の状況に合わせた、支援計画を作成

支援レベルの確認及び支援

- A妊婦:** 妊娠届出内容により状況を確認し、妊娠期の継続支援は必要ない者
- B妊婦:** C妊婦と判定されたが、状況が改善された者
- C妊婦:** 電話及び訪問での状況確認後、身体的・心理的な継続支援が必要な者
→ 支援計画作成
→ 妊娠期と産後に3回以上の電話や家庭訪問を実施
- D妊婦:** 出産前後で継続支援が特に必要な者
→ 支援計画作成
→ 妊娠期と産後に4回以上の家庭訪問を実施

つなぐ

支援計画に基づき、関係機関と連携協力し、早期に適切な対応

連携体制の構築

こども家庭相談課、福祉事務所、福祉まるごと相談課、医療機関、保育施設や子育て支援NPO等の関係機関と連携した早期の対応で、育児困難状態を未然に防ぐ。

【連携事例】

- こども家庭相談課と支援対象者の情報共有
- 産婦人科に妊婦健診同行受診
- 福祉事務所に生活保護相談の同行
- 子育て支援事業等の紹介
- 保育施設入所手続き説明
- 医療機関とのカンファレンス
- 産後ケア施設からの情報提供等

見守る

保健師等が、母子保健事業の様々な機会に、支援対象者の育児や生活状況を確認、支援・見守りを継続

支援状況の確認

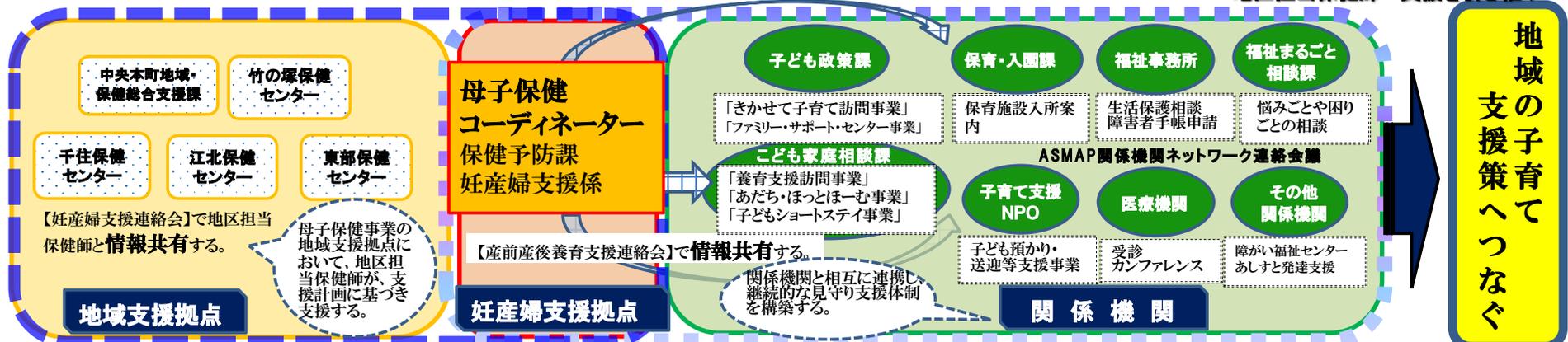
- 保健師等がファミリー学級、こんにちは赤ちゃん訪問、産後ケア、乳幼児健診、ファーストバースデーサポート(1歳時)、健やか親子相談、多胎児家庭移動支援事業などの機会を捉えて、支援対象妊産婦やその子どもの育児や生活状況を確認し、支援・見守りを継続する。
- 新たに支援が必要な妊産婦や子どもを早期に把握し、関係機関と連携して、支援を実施する。

※ 母子保健コーディネーター、地区担当保健師及び関係機関等が様々な機会に、支援対象者と顔を合わせて声をかけ、必要な時にいつでも支援できるネットワークを構築

出産後

母子保健コーディネーターを中心に支援を実施

地区担当保健師へ支援を引き継ぐ

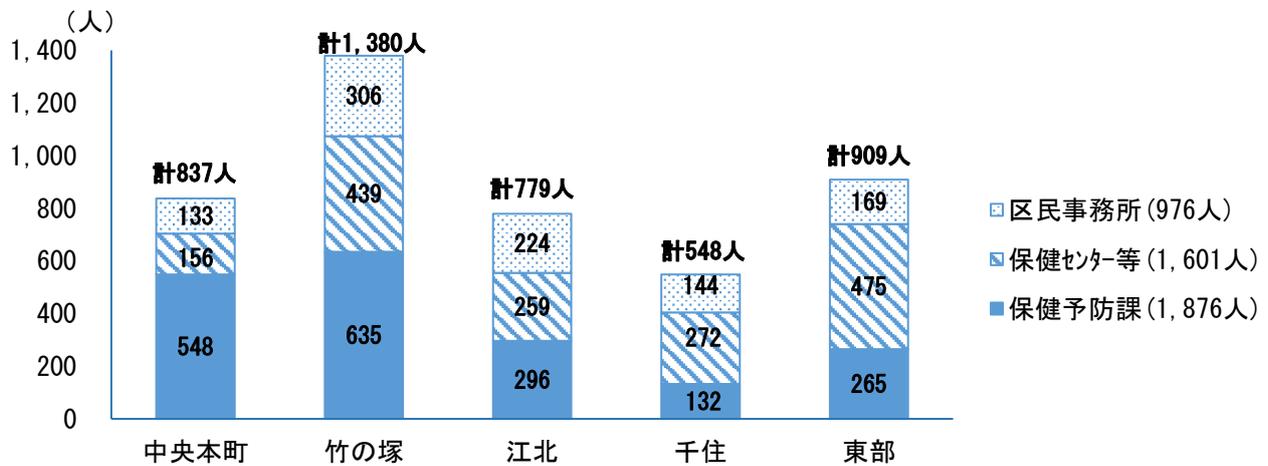


● 令和6年度妊娠届対応実績 <区全体> ●

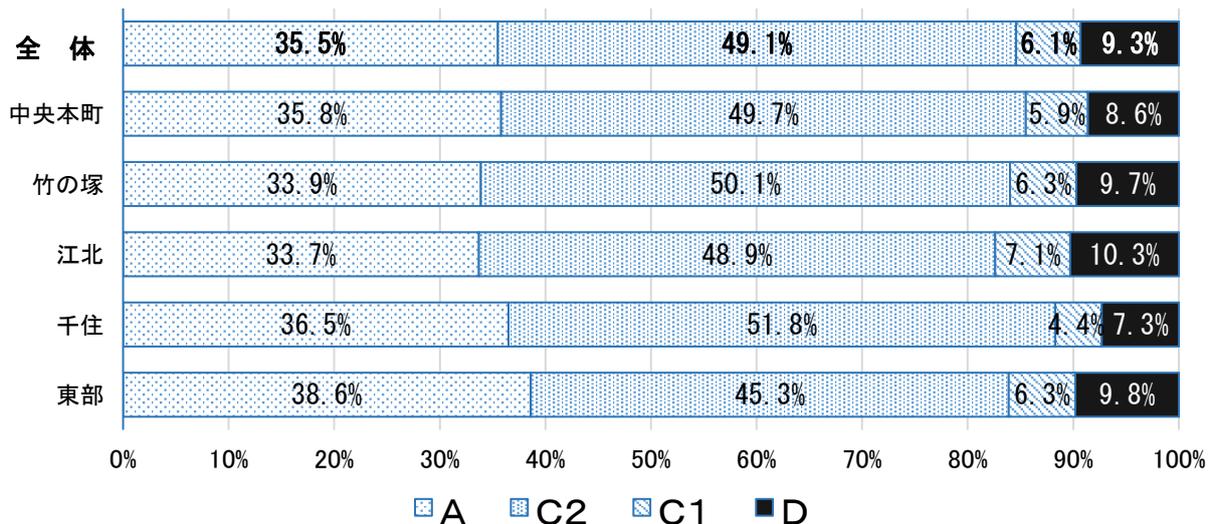
【妊娠届出場所別】総数4,453人

| 届出場所 | 届出人数 | 受付割合(%) | 5年度割合(%) |
|--------|-------|---------|----------|
| 保健予防課 | 1,876 | 42.1 | 41.0 |
| 保健センター | 1,601 | 36.0 | 34.4 |
| 区民事務所 | 976 | 21.9 | 24.6 |
| 計 | 4,453 | 100 | 100 |

【妊娠届出場所・保健センター等管轄別人数】総数4,453人



【保健センター等管轄別妊婦支援区分】



<支援区分>
 A : リスク項目該当なし 通常の母子保健対象妊婦
 C2 : 主に身体的リスクがあり助産師の保健指導を要する妊婦
 C1 : 特定妊婦ではないが、社会的・心理的リスクがあり保健師の継続支援が必要な妊婦
 D : 出産後の養育について出産前に支援を行うことが必要な特定妊婦
 (*) 区分Bは、その後のフォローにより継続支援が必要なしと判断された区分のため、初回面接時には該当者はいない。

令和6年度 妊娠届 質問票集計 <区全体>

| 質問票リスク項目 | | 中央 | 竹の塚 | 江北 | 千住 | 東部 | 計 | 割合 | 5年度 割合 |
|----------|-----------------|-----|-----|-----|----|-----|-----|-------|-----------|
| 1 | BMI 18.5未満(やせ) | 140 | 137 | 93 | 71 | 117 | 558 | 12.6% | 13.2% |
| 2 | BMI 25以上(肥満) | 125 | 140 | 129 | 53 | 103 | 550 | 12.4% | 12.3% |
| 3 | 届出時シングル | 124 | 139 | 132 | 57 | 96 | 548 | 12.3% | 13.5% |
| 4 | 出産後のサポートがない | 109 | 119 | 89 | 70 | 99 | 486 | 10.9% | 11.5% |
| 5 | 予想外の妊娠で戸惑った・困った | 60 | 77 | 60 | 35 | 65 | 297 | 6.7% | 6.3% |
| 6 | その他(心身の体調不良等) | 43 | 88 | 64 | 38 | 56 | 289 | 6.5% | 7.3% |
| 7 | 20~24歳 | 58 | 72 | 80 | 20 | 46 | 276 | 6.2% | 7.8% |
| 8 | 精神以外要支援の病气 | 39 | 57 | 58 | 25 | 60 | 239 | 5.4% | 4.8% |
| 9 | 精神科治療中・既往あり | 50 | 54 | 45 | 28 | 61 | 238 | 5.4% | 4.3% |
| 10 | 前回の妊娠・出産の異常 | 47 | 55 | 52 | 32 | 43 | 229 | 5.2% | 6.5% |
| 11 | 経済不安 | 42 | 63 | 57 | 16 | 35 | 213 | 4.8% | 6.3% |
| 12 | 上の子や家族のことで心配あり | 41 | 52 | 32 | 22 | 44 | 191 | 4.3% | 5.6% |
| 13 | 困った時の助けなし | 31 | 33 | 36 | 18 | 34 | 152 | 3.4% | 3.4% |
| 14 | 多産(4回以上妊娠) | 38 | 49 | 31 | 9 | 24 | 151 | 3.4% | 3.8% |
| 15 | 支援の必要な外国人 | 17 | 43 | 27 | 2 | 19 | 108 | 2.4% | 2.3% |
| 16 | 40歳以上の初妊 | 20 | 21 | 10 | 16 | 18 | 85 | 1.9% | 2.7% |
| 17 | 第1子若年出産 | 10 | 23 | 14 | 3 | 10 | 60 | 1.4% | 1.5% |
| 18 | 本人の喫煙 | 13 | 23 | 12 | 2 | 7 | 57 | 1.3% | 1.1% |
| 19 | 多胎 双子以上 | 13 | 13 | 10 | 8 | 11 | 55 | 1.2% | 1.5% |
| 20 | 本人の飲酒 | 9 | 8 | 10 | 3 | 7 | 37 | 0.8% | 0.7% |
| 21 | 妊娠届20週以降 | 10 | 9 | 9 | 4 | 3 | 35 | 0.8% | 0.7% |
| 22 | 生保・保険なし | 12 | 9 | 5 | 2 | 6 | 34 | 0.8% | 0.9% |
| 23 | 若年 20歳未満 | 8 | 9 | 9 | 0 | 2 | 28 | 0.6% | 0.8% |
| 24 | 関係機関連絡・DV・虐待 | 7 | 6 | 3 | 1 | 4 | 21 | 0.5% | 0.6% |

| | | | | | | |
|-----|-------|-------|-------|-----|-----|-------|
| 合 計 | 1,066 | 1,299 | 1,067 | 535 | 970 | 4,937 |
|-----|-------|-------|-------|-----|-----|-------|

※ アンケートは複数回答可能

※ 割合は、妊娠届出件数(4,453件)に対する割合

令和6年度宿泊型産後ケアの利用者アンケート結果

宿泊型産後ケア利用者アンケート

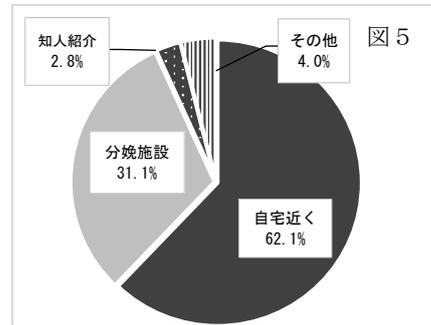
回答数 177名

1 この事業を何で知りましたか（重複ありのため上位のみ）。

- ① スマイルママ面接 58.1%
- ② 区ホームページ 33.8%
- ③ 実施施設からの案内 14.6%

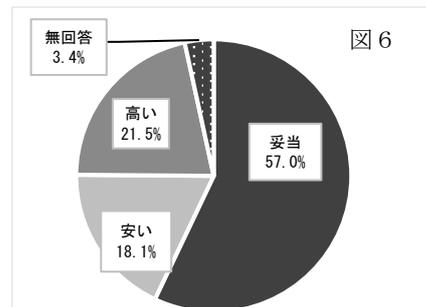
2 今回の利用施設を選んだ理由は何ですか（図5）。

- ① 自宅に近い 62.1%
- ② 分娩施設 31.1%
- ③ 知人等からの紹介 2.8%
- ④ その他 4.0%



3 自己負担金（1日5,000円）は妥当でしたか（図6）。

- ① 妥当 57.0%
- ② 安い 18.1%
- ③ 高い 21.5%
- ④ 無回答 3.4%

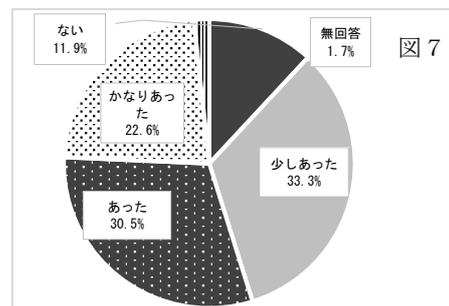


4 どんなことを目的として利用したいと思われましたか（重複ありのため上位のみ）。

- ① 休養・疲労回復 92.0%
- ② 授乳に関する相談・乳房ケア 54.8%
- ③ 育児に関する助言・相談 41.2%

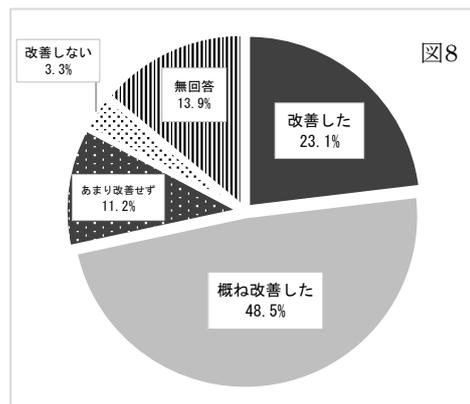
5 出産後、体調不良や育児不安、精神的に不安定になったことはありましたか（図7）。

- ① 少しあった 33.3%
- ② あった 30.5%
- ③ かなりあった 22.6%
- ④ ない 11.9%
- ⑤ 無回答 1.7%



6 産後ケアを利用したことで、不調や不安は改善されましたか(図8)。

- ① 改善された 23.1%
- ② 概ね改善された 48.5%
- ③ あまり改善されなかった 11.2%
- ④ 改善されなかった 3.3%
- ⑤ 無回答 13.9%



7 今回の産後ケア施設の利用は、全体的に満足の内容でしたか(図9)。

- ① とてもよかった 59.3%
- ② 概ねよかった 30.5%
- ③ あまりよくなかった 6.2%
- ④ よくなかった 1.1%
- ⑤ 無回答 2.9%

